

学力向上のための学習力向上メソッド

提案者 桶川市立日出谷小学校

はしば よしなり  
橋場 能成 教諭

(前任校 桶川東小学校での実践を踏まえた提案)

実践に至った背景

学校の教育活動を推進するにあたり、学力向上は最大の使命であり、その使命達成のために何が必要かを考えた。

学力向上のためには、それぞれの学習内容を児童が整った環境・状態で学ぶことが欠かせない。そこから学校・教師ができることを突き詰めて、表題の「学力向上のための学習力向上」に至った。

学習力とは、学ぶための力であり、教師は児童全員に学力と共に学習力を身に付けさせなければならない。児童に授業の学習活動において学習内容をしっかりと定着させ、習熟させるためには、ノートの充実が必要であるという考えになり、この実践に至った。

そこから、以下に示す課題を解決するための手立てとして、いくつかの方策をもって臨んだ。

- ◆ 国語科による学校研究課題を進めるにあたり、児童にノートの取り方を指導するために、国語科に留まらず、社会科、算数、理科のノートがしっかりとれるようにノートの定型化を図る必要があった。(課題研究推進上の課題)
- ◆ 全校で板書・ノートの書き方を教科ごとに統一することで、6年間を見通した指導を実践し、年度初めから密度の濃い学習指導に繋がり、学習内容の習熟が深まると考えた。(児童に対しての課題)
- ◆ 経験の浅い教員が増え、授業中のノート指導の指導力向上の一助とするために、板書とノートの関係を意識させる必要があった。(学校組織としての課題)
- ◆ 家庭において学校教育への意識向上を促すため、家庭に向けて学校の教育活動の見える化(可視化)を進め、学校の教科指導をどのように行っているかを伝え、学校の教育力向上はもちろん、家庭の教育力向上が必要であった。(家庭に対しての課題)

## 実践の内容

### ● 「ノートの使い方」の作成【資料1】

#### 1 導入に至る校内組織体制等

- 学力向上推進委員会・課題研究推進委員会において、ノートの使い方を定型化する方針を決定。
- 各教科部会、各学年（学校組織の縦と横）で方針を精査。
- 職員会議で共通理解を図る。
- 授業を進める中で改善すべき点があった場合には、随時修正を加えるが、児童に示すものは次年度まで変更しない。

学力向上推進委員会は、校長・教頭・教務主任・各学年1名で構成

課題研究推進委員会は、校長・教頭・教務主任、各学年1名(2名の場合もあり)で構成(各学年のメンバーに研究主任を含む)

#### 2 「ノートの使い方」の配布。

- 年度初めの各教科の最初の授業において、「ノートの使い方」を児童に配布。
- ノートの表紙の裏に貼る際に指導・確認し、年間を通して同じ書き方ができるようにする。

児童はいつでも書き方が確認できる

#### 3 2年目以降、教師は児童に再度確認しながら、各教科のノートの表紙裏に見本を貼ることで、いつでもノートの書き方を意識させるようにする。

#### 4 教師は、児童が3色の鉛筆（黒、赤、青）でノートが構成できるように、板書する際にチョークの色の数をしぼる。

児童がノートを書くことに集中できるようにする

### ● 家庭学習の手引きの作成【資料2】

#### 1 作成に至る校内組織体制等

- 学力向上推進委員会において、児童の実態から家庭への働きかけを行うことを検討。
- 各学年において、どのようなことを日常的に働きかける必要があるかを話し合う。
- 話し合いを受け、低・中・高学年のブロックごとに手引きの作成にあたる。

最終的には学力向上推進委員会で形式を整え配布。

各学年の発達段階に応じて「ここまで達して欲しい」という教師の思いを込めた

※ 作成においては、作成に時間はかかるものの、保護者に学校としての考えを伝えるための資料として有効であるという共通理解をもった。

#### 2 保護者への配布

- 年度初めの懇談会において配布。
- 資料を用いながら学力向上のためには、学校の学習活動と家庭学習の両輪で同じ方向を向いて取り組む必要がある事を伝える。
- 年間の学習予定も示し、当該学年でつまずきが多く見られる学習内容を保護者に周知することで、学力向上に対して意識の向上を図る。

## 成果や効果

- ◎ スムーズにどの授業にも臨むことができた。
- ◎ ノートの取り方等の型によって、特別に支援を必要とする児童への指導が容易になった。
- ◎ 児童は、授業の振り返りができるノートを作成できるようになった。
- ◎ 学期や年度が替わった際にもスムーズに授業を行うことができた。
- ◎ 教師の授業力向上につながった。特に経験の浅い教師において、板書・ノートの書き方を意識した授業を行うことは、ねらい→活動→指導と評価の一体化につながった。
- ◎ 家庭へのはたらきかけにより、家庭訪問や面談の際に、学年相応の目安を意識した話し合いになり、児童の学習活動の成果と課題を明確にできた。
- ◎ 児童の感想として、『ノートの使い方』を意識することで「ノートと黒板が同じ用に進むので授業が分かりやすい」と多数の声があった。
- ◎ 保護者からは『学習の手引き』を見て、「どんなことを意識して子供に声かけをすればよいか分かりやすくなった。」

## 実践事例を他校でも活用できる方策等

### \* 他校で導入する際のポイント

- ☆ 学校全体の実態、各学年の実態を把握し、各教科部会でどのような統一が可能かをしっかりと見極め、全教職員が取組可能かを確認する。
- ☆ 全教職員で分担して作成する。

### \* 失敗しないための秘訣

- ☆ 開始は年度初め、もしくは学期始めに、全学年一斉に行うことが理想。
- ☆ 全教職員が板書・ノートの書き方をしっかり把握する。
- ☆ 学年便り等で、定期的に家庭への連絡、啓発を行う。

### \* こうすればより高い効果が得られるという方策

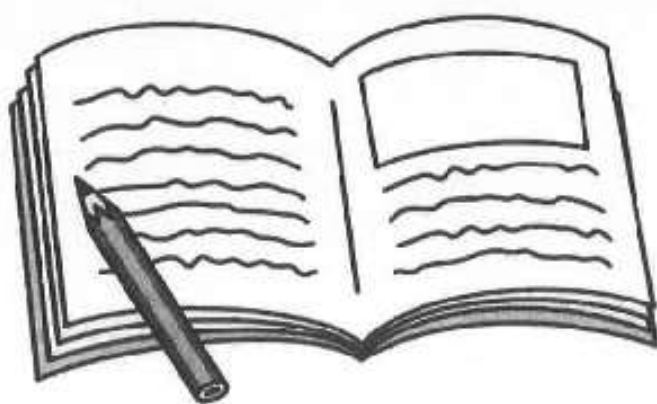
- ☆ 各教科主任を中心に、板書・ノートの書き方の校内研修（模擬授業など）を行う。

## 外部有識者の評価

- 若手教員が増えている中、全ての教員の共通理解のもとで実践することに意義がある。
- 学級や子どもの実態に応じて柔軟に取り組める視点もあるとよい。
- 学力向上と学習力向上との関係についての分析があると良い。
- 特別な配慮が必要な生徒にとって、型があると安心して学習できる場合とそうでない場合があると思われる。そこを見極め、時には柔軟に対応することが大切。
- 実施が長期間にわたっており、学力向上にどのようにつながったか検討して欲しい。

平成26年度版

# 桶川東小ノートの使い方



# 桶川東小学校 国語科ノート使用の約束

国語の授業では、このノート指導で共通理解を図ります。参考にしてください。

## 学習の進め方

### ① 目標の確認

その学習で、どのような力を身につけるのか明確にしてください。指導目標をもとに、児童に分かりやすい表現で書いてください。

### ② 学習計画を立てる。

学習計画を立てることで、児童は学習の見通しをもつことができます。できれば、児童の意見から立てることが望ましいです。

### ③ 伝え合う活動を取り入れる。

ペアやグループなどで言語活動の充実を図り、伝え合う力を高めていきましょう。

4/17(木)

## カレーライス

重松 清 作  
唐仁原 教久 絵

初回は必ず書く。

### 課題

まとめ

青で囲む。

赤で囲む。

① 日付と曜日を書く。題名は毎回板書する（児童は初回のみ）。作者・絵は初回に書く。

② 課題は青で囲む。まとめは赤で囲む。

③ 線は全て定規で引く

④ 授業の流れは、右の学習の進め方を原則として授業を展開する。

# 桶川東小学校 社会科ノート使用の約束

社会の授業では次年度以降につなげていくため、このノート指導で共通理解を図ります。見本も添付しましたので、参考にしてください。

## 学習の進め方

### ① つかむ

気づいたことや疑問に思ったこと、調べてみたいと思ったことを出し合って学習課題をつくります。

### ② 調べる

調べたいことを決めて、みんなでそれを調べよう。

### ③ まとめる

学習課題を解決し、さらに学習を広げていこう。

4 / 2 単元名  
(月)

① (気) (気づいたこと)

② (疑) (疑問に思ったこと)

③ (課) 課題は青で囲みます。

④ (調) ・調べたことを記入  
・

⑤ (ま) まとめは赤で囲みます。

- ① 日付と曜日を一本、線を引いた外側に書く。
- ② 課題は青で囲む。まとめは赤で囲む。
- ③ 線は全て定規で引く
- ④ 授業の流れは、上の学習の進め方を原則として授業を展開する。

4/5 1 日本の歴史

大単元

単元

①縄文のむりから古墳のくにへ

巨大古墳と豪族

小単元

資料から

鍵穴のよう な形だ。墓をどうや  
疑こんなに 大きな たらう。  
てつく たの だらう。

みんなであつた学習課題

古墳は、何のために、どのよう  
にしてつくられたのだらう。

・	工事期間	...	15年	8ヵ月
・	動員人数	...	680万	7千人
・	総費用	...	796億	円

調べてわかったこと

豪族や王は、自分の力古墳の強さを  
示すために、大きな古墳をつく

一行空ける

つかみ

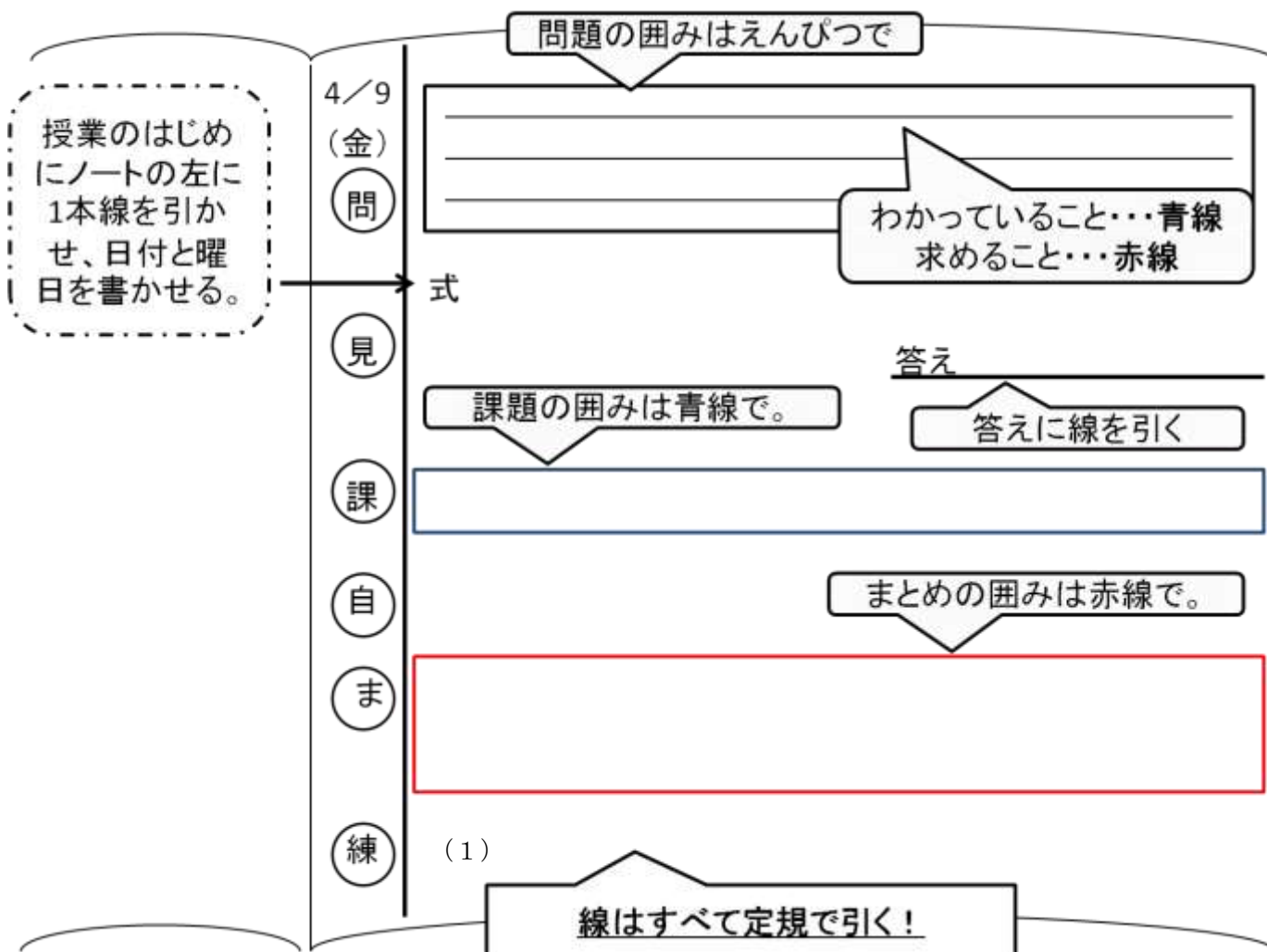
課題

調べる

まとめ

## 桶川東小学校 算数科ノート使用の約束

算数の授業では、次年度以降の学習につなげていくため、このノート指導で共通理解を図ります。  
見本も添付しましたので、参考になさってください。ご協力よろしく申し上げます。



- ① 授業のはじめにノートの左端に1本線を引かせる。日付と曜日を線の外側に書く。
- ② 問題はえんぴつで黒線、まとめは赤線、課題は青線で囲む。
- ③ 問題のわかっていることには『青線』、求めることには『赤線』を引く。
- ④ 答えにも線を引く。 答えは(AやAnsのようにせず、答えと書く。)
- ⑤ 授業の流れは、「問題→見通し→課題→自力解決→練り上げ→まとめ→練習問題→感想」で授業を展開していく。
- ⑥ 問題番号や( )は1本線の内側に書く。
- ⑦ 図や途中式、筆算などの考えは消さずに残しておくように指導をする。



色紙が60まいあります。この色紙を1人に20まいずつ分けると、何人に分けられますか。



わかっていないこと... 青  
求めること... 赤  
アンダーラインを引こう。



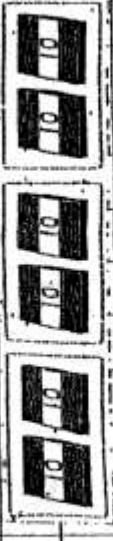
。ときかたを、予そうしてみよう。  
。答えは、おおよそどのくらいか、よそうしてみよう。

式  $60 \div 20$

課 何十÷何十の計算のしかたを  
考 文よら



。絵・図・数直線・今までの習った計算などで説明しよう。  
。なぜ、そりなるのか、言葉で理由を書こう。  
。ひとつの方法ができたから、ちがう方法も考えてみよう。



$60 \div 20 = 3$

$6 \div 2 = 3$  答え 3人

0を消すことは、10でわること。  
10のたばで考えるのと同じ。

⑧  $80 \div 40 = 2$

赤線

⑨ 10をもとにして考えると、  
60を20の番は、 $6 \div 2$ の番と等しくなります。

# 桶川東小学校 理科ノート使用の約束

理科の授業では次年度以降につなげていくため、このノート指導で共通理解を図ります。見本も添付しましたので、参考にしてください。

## 学習の進め方

課題

・いろいろな物事や現象から問題を見つけて課題をたてる。

予想

・課題の答えを予想する。  
・理由（予想の根拠）を書く。

観察・実験の計画

・予想を確かめるための観察や実験の方法を計画する。

観察・実験

・計画に基づいて観察や実験をする。

考察

・観察や実験の結果を検討する。

まとめ

・観察や実験の結果をもとに、導き出されたことをまとめる。

活用

・習得した知識や技能などを活用する。日常の現象や事物とつなげる。

4 / 9

(金)

課

予

観 実

単元名

課題は青で囲む。

・予想を書く。  
・理由（予想の根拠）を書く

(観察・実験名) 枠は黒で囲む

方

・観察や実験の方法を計画して、図などを入れて書く。

- ・準備する物
- ・予想を確かめる方法
- ・そろえる条件と変える条件
- ・想定される結果

結 (実験の結果) 結果は実験からのもの。個人の意見は入らない。

考 (実験の結果から考えたこと・わかったこと) 個人の考えを書く。

(課題の答えを書く) まとめは赤で囲む。

学級や教師がまとめた課題の答え

・日付と曜日は線を引いた外側に書く。  
・課題は青、まとめは赤、その他は黒で囲む。  
・線はすべて定規で引く。

4/8  
1/13  
問題は青

発芽と成長

種子が発芽するには、水のほかに何が必要なのだろうか。

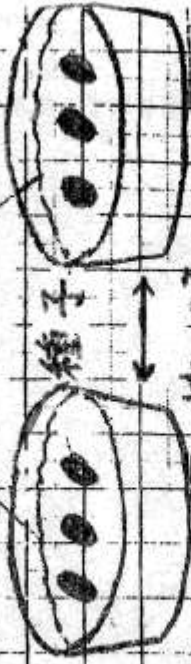
適した温度が必要だと思ふ。理由... 春に出るから。 **予想の理由と書く**

④ 発芽に適した温度を調べよう

- ⑤ 用意する物
- ・インゲンマメ
- ・インゲン
- ・だし
- ・水

変えること  
温度  
同じにすること  
湿度以外(空気、水)

水をふくませたのだし綿



ふっつうの温度  
箱をかぶせる。  
予想が正しいほけだけが発芽するはずに入れない

⑥ 小さいの温度  
箱をかぶせる。冷たく置く。  
⑦ 発芽した

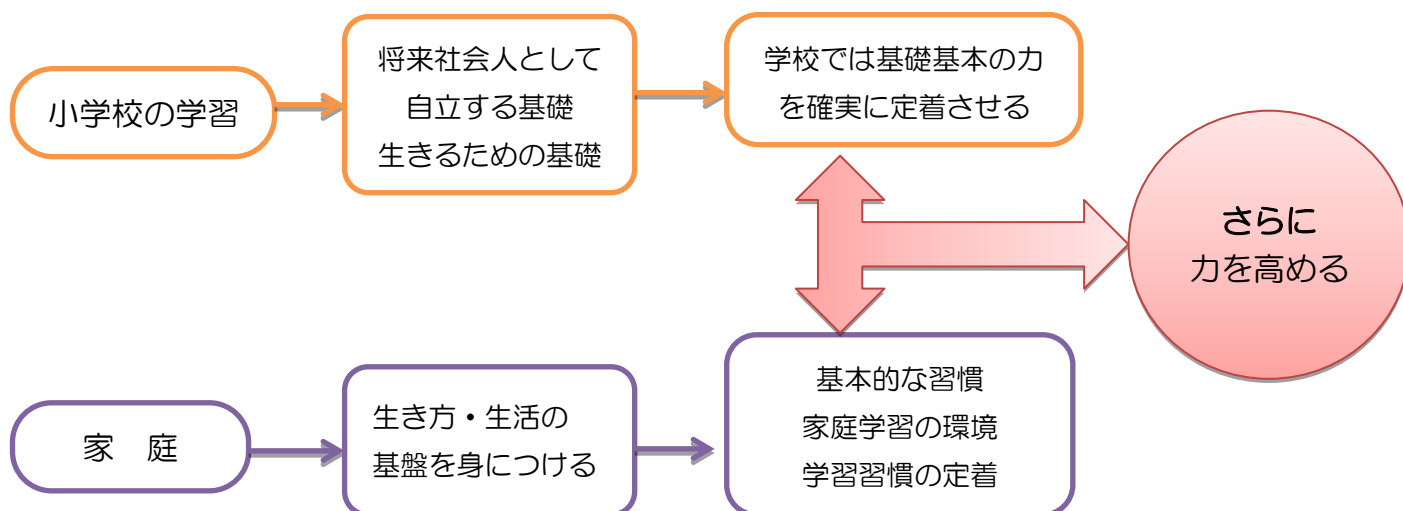
⑧ 温度が低いと発芽しない  
⑨ 温度が高いと発芽しない

観察と  
まわりの同じ  
になる  
ある

⑩ 種子が発芽するには、水のほかに適した温度が必要。

# 自ら学ぶ けやきっ子

## 家庭学習の手引き



### 学校から家庭へのお願い

○子どもの可能性を伸ばすはたらきかけをお願いします。

- ・集中して学習に取り組ませましょう。
- ・やったことを認め、ほめましょう。
- ・ときにはお子さんと一緒に本を読み、感想など話し合うなど、読書の楽しみを伝えてあげましょう。

○生活のリズムを整えましょう。

- ・早寝・早起き・朝ごはんを実行しましょう。
- ・家の手伝いなど、家庭での役割をしっかりとめさせましょう。

# 家庭学習のすすめ

☆復習をしよう！

復習すると、学校で学んだことが、自分の力になります。

復習しないと、すぐ忘れてしまいます。

エビングハウスの忘却曲線



☆計画的に家庭学習を進めよう！

勉強時間を決めよう。

生活リズムを整えよう。(早寝、早起き、朝ごはん)

目標をもって努力しよう。

家庭学習時間のめあす

10分×学年

1年生 10分

2年生 20分

3年生 30分

4年生 40分

5年生 50分

6年生 60分

# 家庭学習4つのポイント

## 1 家で勉強する時刻を決めておく。

○毎日なるべく同じ時刻に始めましょう。それを続け、習慣にしましょう。

## 2 最初に、まず「宿題」をやる。

○まず宿題を片付けて、すっきりしましょう。次は、自主学習です。

## 3 復習はその日のうちにやる。

○今日学習した内容を、教科書、ノートで振り返りましょう。

○わからない時は、教科書を見たり、調べたりします。

## 4 落ち着ける場所で学習する。

○机の上をいつもきれいにしておく習慣をつけましょう。

○テレビや音楽は消し、「ながら勉強」をしません。テレビを見る時間をきめて、

勉強する時間は集中できる習慣をつけましょう。

# かていがくしゅうのないよう 1・2年

## こくご

### 【おんどく】

- たのしみながら、くちのかたちやこえのおおきさにきをつけて、よめるようにしましょう。
- くとうてん（「、」や「。」）にきをつけて、すらすらよめるようにれんしゅうしましょう。
- まいにち つづけて れんしゅうしましょう。

### 【かくこと】

- 正しいしせいで、正しいえんぴつのもちかたで、ていねいにゆっくりかきましょう。
- ひらがな・カタカナ・かんじを 正しい かきじゅん・かたち・おくりがなでかけるように、れんしゅうしましょう。
- こくごのきょうかしょの ぶんを、正しく かきうつせるように れんしゅうしましょう。

## さんすう

- かずの よみかた・かきかたを れんしゅうしましょう。
- まずは、ゆっくり 正しく けいさん できるように しましょう。
- 正しく けいさんできるように なったら、すこしずつ はやくできるように れんしゅうしましょう。
  - ◆ たしざん・ひきざんの れんしゅうをしましょう。
  - ◆ 〈かけざんを べんきょうしたら〉九九をすらすらいえるように、れんしゅう しましょう。

## そのほか

- たのしかったことや うれしかったことを、じぶんのことばで、えにっきや にっ きにかいてみよう。
- せいかつかの がくしゅうに かんれんした、おてつだいを しましょう。
- なわとびや てつぼうなど、たいりょくづくりに チャレンジしましょう。
- けんぱんハーモニカの れんしゅうを したり、どうしょくぶつのかんさつを したりしてみよう。

# 家庭学習の内容 3・4年

## 国語

### 【宿題】

- 音読…主人公の気持ちやしょうけいをそうそうしながら、文章をせいかくに読もう。
- 漢字…正しい書き順でとめ、はね、はらいに気をつけて、ていねいにくり返し練習しよう。

### 【自主学習】

- 習った漢字を練習しよう。
- 教科書の文章を正しくはやく書き写そう。
- 国語辞典で意味調べをしよう。

## 算数

### 【宿題】

- 計算ドリル…習ったことをくり返し練習しよう。

### 【自主学習】

- 教科書、ノートを見て、かけ算やわり算が正しくはやくできるようにしよう。
- 次の授業の学習内容を教科書で確認しよう。
- 学習したことをノートやドリルで復習しよう。

## そのほか

### 【宿題】

- 授業で指示があった課題に丁寧に取り組もう。

### 【自主学習】

- 教科書、ノートを見て学習したことの復習をしよう。
- 地域社会の社会や産業についてまとめよう。
- なわとび、ボール運動、ブリッジなど体力作りにチャレンジしよう。
- 音楽で習った曲を演奏しよう。(リコーダー、鍵盤ハーモニカ、歌など)
- 音楽記号を覚えよう。



# 家庭学習の内容 5・6年

## 国語

### 【宿題】

- 音読…筆者の気持ちや伝えたいことを考えながら読もう。
- 漢字…とめ・はね・はらいに気をつけ、正しい書き順で丁寧に練習しよう。  
繰り返し練習しよう。

### 【自主学习…自分で考えて学習しよう。】

- ことわざや熟語の意味調べをしよう。○詩をつくってみよう。○視写をしてみよう。
- 日記を書こう。○読書をして感想文を書こう。○漢字練習をしてみよう。

## 社会

### 【宿題】

- 授業で指示があった課題に丁寧に取り組もう。

### 【自主学习…自分で考えて学習しよう。】

- 教科書、ノートを見て学習したことの復習をしよう。○重要な語句を調べ、まとめよう。
- 新聞やテレビのニュースで世の中の動きを調べよう。
- 資料集のグラフを読み取り、わかったことをまとめてみよう。
- 地図帳で、地名やその土地の工業製品や特産品などを調べよう。

## 算数

### 【宿題】

- 計算ドリル…正確に計算する力をつけるために、繰り返し行おう。

### 【自主学习…自分で考えて学習しよう。】

- 教科書、ノートを見て学習したことの復習をしよう。○明日の授業を予習しよう。
- いろいろな公式をまとめよう。○計算練習をしてみよう。○自分で問題を考えよう。

## 理科

### 【宿題】

○授業で指示があった課題に丁寧に取り組もう。

### 【自主学习…自分で考えて学習しよう。】

○教科書、ノートを見て学習したことの復習をしよう。 ○重要な語句を調べ、まとめよう。

○身近な科学に関することを調べよう。○自由研究をしてノートにまとめよう。

## その他

○なわとびや鉄ぼうなど体力作りにチャレンジしよう。

○音楽で習った曲を練習しよう。(リコーダー、鍵盤ハーモニカ、歌など)

○音楽記号を覚えよう。

○家庭科で習ったことを復習しよう。